

# 令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

## 1 事業の概要

令和5年度のシルバー事業を取り巻く環境は、令和2年1月に発生し度重なる行動制限で社会経済活動を停滞させた新型コロナウイルス感染症が5月に5類に分類され行動制限は緩和されましたが、就業機会や事業高は新型コロナウイルス感染症前には回復しておらず、10月には消費税のインボイス制度が導入され納税額が増える等シルバー人材センター事業において厳しい状況となりました。また、企業における65歳までの雇用確保措置の義務化と70歳までの雇用の努力義務により、シルバーに入会する60歳代の会員が減少し、会員の平均年齢が年々上昇していることから、高齢会員に適した就業機会の確保が課題となっています。

一方、少子高齢化の進展に伴い、将来必要な労働力人口が減少する中で、働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現を図ることが重要とされ、シルバー人材センターへの期待が益々高まっています。

芦屋市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の令和5年度事業は、第2次中期事業計画（令和元年度～令和5年度）を基本に会員、役員、事務局が連携し、下記の項目を積極的に事業の推進に取り組みました。

- ① 会員数の拡大と就業機会の確保・拡大
- ② 生活支援型訪問サービス事業及び介護予防応援事業の推進
- ③ 独自事業の推進及び高齢会員の就業機会・居場所の確保
- ④ 会員の技術・技能と接遇の向上
- ⑤ 安全就業の徹底と適正就業の推進
- ⑥ 専門委員会活動の強化

会員数の拡大については、広報啓発活動を強化するとともに入会促進強化月間を設定し会員紹介キャンペーンを開催したほか、技能班が市民対象に講習会を開催する等会員拡大に取り組みました。また、ハローワーク西宮及び兵庫県シルバー人材センター協会（以下「兵シ協」という。）と連携しシニア世代対象に就職支援セミナーを開催し会員拡大に取り組みました。

就業機会の確保については、兵シ協と連携し高齢者活躍人材確保育成事業（家事支援講習会、マンション管理講習会）の実施、技能講習会を実施し就業機会の確保・拡大に取り組みました。

介護予防・日常生活支援総合事業「生活支援型訪問サービス事業」については、指定事業者として継続実施し就業機会を確保することができました。

請負事業のうち公共では、潮芦屋護岸工事のため受注停止であった清掃・除草作業や指定ごみ袋関係事務・業務の受注がありましたが、包括管理契約で公共から民間に切り替わったことにより、前年度より366万円の減額となり、前年度実績比でマイナス5.8%となりました。

民間では、家事支援サービス、剪定作業の受注が減少しましたが、公共からの切替えや屋内清掃の受注増加により前年度より2,099万円の増額となり、前年度実績比でプラス6.9%となりました。

独自事業は、事業数は27事業となりました。今年度も新規提案事業の募集を行いました但応募はありませんでした。5月末に「キッチンカフェなりひら」が閉店したこともあり前年度より863万円の減額となり、前年度実績比でマイナス31.6%となりました。

派遣事業については、施設の調理補助・清掃や障がい者施設の利用者支援等を新規契約したことから契約額は前年度より1,261万円の増額となり、前年度実績比でプラス14.4%となりました。

啓発活動については、「しるば〜たいむず」の全戸配布や「広報あしや」への広告掲載のほか、市役所北館展示コーナーや市保健福祉センターエントランスを活用したシルバー事業の紹介等を継続実施しました。

「はつらつ館」玄関前広報掲示板を活用し月間スケジュールを掲載しセンター事業を広く市民及び会員に紹介しました。また、会員ボランティアによる「はつらつ館」周辺の花緑化に取り組み、芦屋市のオープンガーデンに引き続き参加しイメージアップを図りました。

会員の技術・技能と接遇の向上については、新入会員オリエンテーションでの接遇研修や各職群での研修のほか、会員意識向上委員会が接遇研修会を実施しました。福祉・家事援助講習会、子育て支援ステップアップ研修会等を実施し知識・能力の向上に取り組みました。

安全就業、健康管理の徹底については、事故ゼロを目指して、安全パトロールを2回実施するとともに、「安全だより」を年2回発行し、安全意識の周知・啓発を図りました。

適正就業については、適正就業ガイドライン「シルバー人材センターの案内」を活用し、新入会員及び発注者へ説明し周知徹底を図りました。

各専門委員会の活動については、令和5年度の実施計画を基本に各委員会で具体的に取り組みました。活動内容は各委員会からの報告に掲載しています。

以上のような取組を進めた結果、受託事業・独自事業の事業高は870万円増の4億279万円、就業延人員は5,570人減の8万3,677人となり目標値は達成できませんでした。

就業率は0.1ポイント増加し74.5%となりましたが目標値を達成できませんでした。

派遣事業の契約額は前年度より1,261万円増の1億21万円、就業延べ人員は2,014人増の20,116人となり目標値を達成することができました。

令和5年度は第2次中期事業計画5ヶ年の最終年度となり新型コロナ感染症発生前に定めた数値を目標として取り組みましたが、依然として新型コロナ感染症からの回復は進まず、会員数及び受託事業・独自事業の就業率、就業延人員、事業高は目標に達することができませんでした。今後、早期に回復できるよう取り組んでまいります。

会員数は、今年度入会者118人、退会者152人で前年度より34人減少し1,144人となり目標値を達成することができませんでした。

男女比率は男性52.0%に対し女性は48.0%となり前年度より0.7ポイント女性会員比率が上昇しました。

その他の主な取り組みとしては、

センターの安定的な財政運営を図るため、国及び芦屋市から補助金の交付を受けるな

ど財源確保に努めるとともに効率的な事務執行に取り組みました。

令和5年度は第2次中期事業計画の最終年度の取組となりました。令和5年度の進捗状況を点検・分析・評価を行い、理事会の承認を得ましたので報告します。(別掲載)

センターと会員のコミュニケーションツールとして、7月から会員専用サイト「Smile to Smile」の運用を開始し、8月～12月には講習会も開催しました。現在は「配分金明細」「お知らせ」「お仕事紹介」の利用ですが、今後利用範囲の拡大を予定しています。

以下、令和5年度実施計画に基づく事業の詳細を報告いたします。

## 2 数値目標に対する実績

		数値目標	実績	達成率
(1) 会員数		1,250 人	1,144 人	91.5%
(2) 就業率	受託・独自	86.5%	74.5%	86.1%
	派遣	100%	100.0%	100.0%
(3) 就業延人員	受託・独自	121,000 人	83,677 人	69.2%
	派遣	17,000 人	20,116 人	118.3%
(4) 事業高	受託・独自	5 億円	4 億 279 万円	80.6%
	派遣	8,500 万円	1 億 21 万円	117.9%

## 3 事業実績及び就業活動

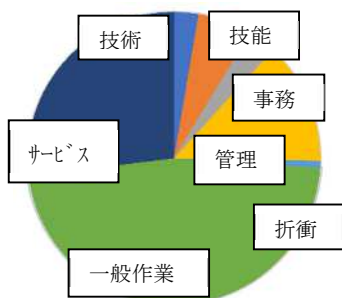
### (1) 請負事業（受託事業及び独自事業）

職 群	仕事の内容	民 間 (千円)	公 共 (千円)	計 (千円)	就業延人員 ( 人 )
技 術	各種講座・教室指導等	10,706	107	10,813	3,518
技 能	剪定・網戸張替・縫製等	23,826	136	23,962	2,862
事 務	受付、集計事務・筆耕等	7,771	4,828	12,599	2,091
管 理	施設・駐輪・駐車場管理等	52,321	2,139	54,460	9,135
折 衝	販売・配達業務等	648	2,365	3,013	723
一般作業	商品整理・屋内外清掃等	167,872	21,598	189,470	38,041
サービス	家事、育児支援・広報紙配布	80,501	27,971	108,472	27,307
令和5年度計(A)		343,645	59,144	402,789	83,677

令和4年度計(B)	331,285	62,804	394,089	89,247
前年度比較(A)-(B)	12,360	△3,660	8,700	△5,570
前年度比率	103.7%	94.2%	102.2%	93.8%

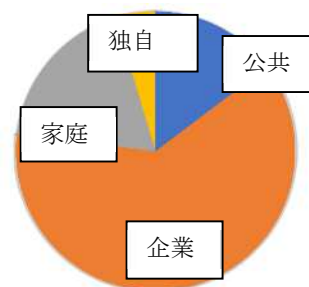
### 職群別比率

- ① 技術 2.7%
- ② 技能 6.0%
- ③ 事務 3.1%
- ④ 管理 13.5%
- ⑤ 折衝 0.8%
- ⑥ 一般作業 47.0%
- ⑦ サービス 26.9%



### 業種別比率

- ① 公共 14.7%
- ② 公社 0.0%
- ③ 企業 62.3%
- ④ 家庭 18.4%
- ⑤ 独自 4.6%



## (2) 労働者派遣事業

	派遣事業高	就業実人員	就業延人員	手数料収入
令和5年度	100,214,788 円	172 人	20,116 人	8,989,200 円
令和4年度	87,606,093 円	147 人	18,102 人	8,198,300 円
前年度比較	114.4%	117.0%	111.1%	109.6%

※兵シ協が派遣事業元となり当センターは芦屋市実施事務所として行う派遣事業は9年目となりました。公益法人会計上、センター収入は取扱い手数料収入のみの計上となります。

## (3) 請負事業及び派遣事業を合わせた事業実績

	就業延人員	令和5年度	令和4年度
受託事業	77,253 人	384,116,585 円	366,784,282 円
独自事業	6,424 人	18,672,868 円	27,304,306 円
派遣事業	20,116 人	100,214,788 円	87,606,093 円
合計	103,793 人	503,004,241 円	481,694,681 円

## (4) 独自事業実績

各事業の実績は以下のとおりです。

事業名 (事業開始順)	令和5年度			令和4年度
	利用者 延人数	就業延 人員	事業実績	事業実績
着物リサイクル事業 (はつらつ工房)	7 人	29 人	38,600 円	40,200 円
パソコン講座 (パソコン研究会)	200 人	185 人	439,500 円	481,500 円

一時預かり事業 (まつぼっくり)	670 人	1,034 人	2,235,400 円	1,338,600 円
リフォーム事業 (リフォーム班)	48 人	68 人	178,112 円	168,871 円
たのしい放課後教室 (教育サービス班)	1,474 人	1,160 人	1,808,000 円	1,570,250 円
英語クラス (E・S・S・T)	633 人	199 人	399,850 円	320,300 円
シニアライフトータルサ ポート講座	73 人	16 人	36,500 円	72,500 円
書道教室 (書道班)	574 人	173 人	889,500 円	688,500 円
傾聴事業 (はつらつコール)	199 人	95 人	141,566 円	451,555 円
健康表現体操	1,710 人	95 人	301,500 円	366,600 円
健康コミュニケーション 麻雀	811 人	410 人	728,000 円	422,600 円
みんなで歌おう	1,074 人	67 人	370,950 円	253,150 円
着付け教室 (着付け班)	44 人	71 人	104,400 円	34,000 円
手工芸製作販売 (花こもの)	—	69 人	50,460 円	76,395 円
はつらつ写真館 (写真班)	9 人	6 人	34,900 円	8,000 円
刃物研ぎ(刃とぎ班)	327 人	155 人	393,200 円	355,400 円
袋物等製作販売 (夢きさら)	—	17 人	15,750 円	33,800 円
子ども絵画教室	246 人	38 人	370,000 円	354,000 円
はつらつ憩サロン	160 人	41 人	64,000 円	141,000 円
小町カフェ	6,716 人	1,311 人	3,808,780 円	3,459,410 円
絵手紙教室	126 人	24 人	126,000 円	119,000 円
キーボード&ピアノ教室	743 人	572 人	3,105,450 円	2,810,500 円
小町モール(オンライン販 売) (手数料)	4 人	16 人	5,960 円	760 円
キッチンカフェなりひら (チケット販売手数料含)	3,215 人	490 人	2,868,990 円	13,274,600 円
養生気功講座	80 人	32 人	87,000 円	87,000 円
お灸とツボ講座	112 人	36 人	65,000 円	52,500 円
住環境サポートチーム講 座企画	16 人	15 人	5,500 円	53,500 円
シルバー野菜市	—	—	—	269,815 円

合 計	19,271 人	6,424 人	18,672,868 円	27,304,306 円
-----	----------	---------	--------------	--------------

#### (6) 「小町カフェ」事業

「小町カフェ」事業は7年目の取り組みとなり、7月から事業支出の全てを小町カフェの事業収入で賄うこととし、壁面ギャラリー、小町サロンを開催する等利用者の拡大と支出の抑制に努めました。令和5年度の事業実績は次のとおりです。

	事業収入 (円)	事業支出 (円)	収支差引額 (円)	利用者数 (人)	就 業 延 人数(人)
令和5年度	3,808,780	4,107,977	△299,197	6,716	1,311
令和4年度	3,365,910	5,057,020	△1,691,110	5,599	1,302
前年度比較	442,870	△949,043	1,391,913	1,117	9

#### (7) 介護予防・日常生活支援総合事業

芦屋市の指定事業者として参入した生活支援型訪問サービスは7年目となり、前年度比93.1%の実績となりました。

	受託件数 (件)	就業延人員 (人)	事業実績 (円)
令和5年度	624	2,349	5,284,958
令和4年度	646	2,524	5,675,561
前年度比較	△22	△175	△390,603

### 4 会員の登録状況

#### (1) 入会説明会の開催

入会希望者に対し、シルバー人材センターの理念、就業システム、センターの現状等の説明会を毎月開催しました。

	令和5年度	令和4年度
入会説明会出席者	158人	197人
出席者の入会率	74.7%	85.3%

#### (2) 会員の入退会等

##### ア 入会及び退会

入会者は昨年度より50名少ない118人の入会があり、退会者は20名多い152名の退会があり、最終的に34名の減少となりました。女性比率は48.0%となり前年度より0.7ポイント比率を伸ばしました。また、令和4年3月に施行した「プラチナ会員制度」に移行した登録会員が36名ありました。

	令和5年度末	入会者	退会者	令和4年度末
男	595人	57人	83人	621人
女	549人	61人	69人	557人
計	1,144人	118人	152人	1,178人

## イ 入会動機及び退会理由

入会動機では健康維持、社会参加、退会の理由では病気、加齢を理由にされた会員の割合が昨年同様多くなっています。

入会動機		退会の理由	
健康維持・増進	28.0%	病気	29.6%
生きがい、社会参加	33.0%	加齢	12.5%
時間的余裕	21.2%	就業機会・希望なし	15.7%
経済的理由	11.9%	家庭の事情（介護等）	9.9%
仲間づくり	3.4%	他所就業・就職	5.3%
その他	2.5%	その他・転居・未納等	27.0%

## ウ 在会期間別

(単位：人)

	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 4年未満	4年以上 6年未満	6年以上 8年未満	8年以上 10年未満	10年以上
男	53	54	84	69	50	67	218
女	57	75	92	62	57	48	158
計	110	129	176	131	107	115	376

## エ 年齢別会員数

(単位：人)

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	平均年齢
男	14	73	173	194	141	75.8歳
女	40	94	152	165	98	74.3歳
計	54	167	325	359	239	75.1歳

## オ 年齢別就業率

(単位：%)

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	全体
男	78.6	63.0	80.3	80.9	85.8	79.7
女	70.0	66.0	64.5	70.9	74.5	68.9
計	72.2	64.7	72.9	76.3	81.2	74.5

## 5 事業の普及啓発及び就業開拓

シルバー事業の周知及び就業機会の拡大のために、以下の活動をしました。

- (1) 広くシルバー事業を紹介するために、宣伝広告の掲載等を行いました。センター財政が悪化しているため広報宣伝内容の見直しを行いました。
  - ① 「広報あしや」に5月、10月及び12月に事業活動に合わせた内容を掲載
  - ② 茶屋之町商工案内地図看板（どこねっと）に「はつらつ館」を掲示
- (2) 会報「はつらつ芦屋」第36号・第37号を発行し、会員及び関係機関に配布しました。
- (3) ホームページを毎月更新し、広くセンターの事業活動をPRするために活用しました。
- (4) センター広報紙「しるば～たいむず」第25号・26号を発行し、市内全世界帯に配布しました。
- (5) 全シ協の機関誌「月刊シルバー人材センター」を購入し、行政機関等の窓口に置いてシルバー事業をPRしました。

- (6) 「事務局だより」を毎月（第268号～第279号）発行し、センターの活動及び情報等を会員及び関連団体に提供しました。
- (7) 8月3日に役職員14名で芦屋市長・副市長及び市議会議長・副議長に直接面会し、高齢者に適した就業機会の確保や提供、センターの成長に見合った補助金の更なる支援、活動拠点である事務所機能の充実について要請しました。
- (8) 9月12日から29日まで市役所北館展示コーナーにおいて「やっぱりシルバー！」と題して活動紹介のパネル展を開催しました。また、今年度初めて1月9日から1月31日まで市保健福祉センターエントランスにおいて活動紹介のパネル展を開催しシルバー人材センター事業の周知に努めました。
- (9) センターの宣伝及びイメージアップのため、花ボランティア会員が「はつらつ館」周辺に花緑化を行うと共に「岩ヶ平公園のバラ園」の2か所で芦屋市主催のオープンガーデンへ参加しました。

## 6 組織活動

### (1) 定時総会

開催日・場所・出席者数	主 な 議 題
令和5年5月26日（金） 芦屋市民会館大ホール （ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール） 出席会員数822人 （委任状出席605人を含む）  ※総会当日会員総数1,185人	○令和4年度収支補正予算について ○令和4年度事業報告について ○第2次中期事業計画の令和4年度進捗状況 検証の報告について ○令和4年度収支決算、監査報告について ○令和5年度事業計画、収支予算、資金調達及 び設備投資の見込みについて

### (2) 理事会

会議開催日	主 な 協 議 内 容
第1回 4月28日	○理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について ○令和4年度収支補正予算（第2号）について（専決報告） ○令和5年度定時総会の開催について ○令和4年度事業報告について ○令和4年度収支決算報告、監査報告について ○被表彰者の決定について ○第2次中期事業計画の進捗状況検証の報告について
第2回 6月23日	○「小町カフェ」事業の廃止について
第3回 10月27日	○「小町カフェ事業」について ○理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について ○特定費用準備資金積立計画の変更について ○令和5年度上半期事業及び収支報告、中間監査について ○令和5年度収支補正予算（その1）について（専決報告） ○「キッチンカフェなりひら」事業実施要綱を廃止する要綱の制定について
第4回 12月22日	○事務局職員給与規程の一部改正について



		<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務局嘱託職員の就業等に係る取扱要綱の一部改正について</li> <li>○ペナルティ制度の導入について</li> <li>○子育て支援班「キッズサポート まつぼっくり」一時預かり事業実施要領の一部改正について</li> </ul>
第5回	2月16日	○令和5年度収支補正予算（その2）について（専決報告）
第6回	3月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小町カフェ事業運営について</li> <li>○令和6年度事業計画について</li> <li>○令和6年度収支予算について</li> <li>○令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて</li> <li>○事務局職員給与規程の一部改正について</li> <li>○部会設置規程の一部改正について</li> <li>○専門委員会設置要綱の一部改正について</li> <li>○独自事業実施要綱の一部改正について</li> <li>○「女性の会」設置要綱を廃止する要綱の制定について</li> <li>○会員の訃報に係る取扱要綱を廃止する要綱の制定について</li> <li>○事務局正規職員の採用について</li> </ul>

### (3) 部会・委員会等

#### ア 部会

##### ① 総務部会（部会開催：4回）

- ・「キッチンカフェなりひら」事業実施要綱を廃止する要綱の制定について
  - ・事務局職員給与規程の一部改正について
  - ・事務局嘱託職員の就業等に係る取扱要綱の一部改正について
  - ・事務局正規職員採用について
  - ・部会設置規程の一部改正について
  - ・専門委員会設置要綱の一部改正について
  - ・独自事業実施要綱の一部改正について
  - ・「女性の会」設置要綱を廃止する要綱の制定について
  - ・会員の訃報に係る取扱要綱の廃止する要綱の制定について
- 以上の協議を行い理事会に諮ることを決定しました。

##### ② 事業運営部会（部会開催：12回）

令和5年度事業計画及び第2次中期事業計画に基づいて、事業運営の具体的な実施について協議、検討を行いました。その他に主な内容は下記のとおりとなっています。

- ・芦屋市長及び議長への要請行動について
- ・シルバーフェスティバルについて
- ・パネル展（市役所北館展示コーナー、市保健福祉センターエントランス）について
- ・会員専用サイト「Smile to Smile」について
- ・役員会・委員会等体制について
- ・「小町カフェ」事業運営について
- ・入会説明会について

## イ 安全・適正就業推進委員会（委員会開催：6回）

- ・令和5年度事業計画に基づき事故防止対策、適正就業の推進に努めました。
- ・安全パトロールでは、安全・適正就業推進委員会委員、安全推進員、担当職員が公共現場をパトロールする方法で実施しました。（2回実施）
- ・安全推進大会を11月16日に開催し69名の参加がありました。昨年度に引き続き多くの会員に参加いただける取組として音楽演奏の時間を設けました。
- ・安全強化月間事業として、新規就業会員に対して安全講習会を7月13日に開催し16名の参加がありました。
- ・未就業会員の内68名に対し4月～5月に電話で実態調査を実施しました。
- ・交通安全講習会（危険予知トレーニング）を10月30日に開催し15名の参加がありました。
- ・健康講座（転倒リスクの予防）を2月22日に開催し22名の参加がありました。
- ・事故に対する「ペナルティ制度」を検討し理事会に提言しました（令和6年4月から実施します。）。
- ・安全標語を募集し22件の応募があり、最優秀作品・優秀作品3点を選定しました。
- ・「安全適正就業だより」を8月、12月の2回発行しました。

### 講習等

開催日	講習会名称	目的及び内容	参加人数
毎月第3火曜 (オリエントーション)	安全・適正就業に関する講習	新入会員に対し安全就業及び安全意識の啓発・適正就業についての周知	118人
7月13日	安全講習会	新規就業者に対し、安全・適正就業等の講習会	16名
10月30日	交通安全講習会	自動車就業会員の為の安全対策危険予知トレーニング	15名
11月16日	安全推進大会	障害・賠償事故の実態・注意喚起、交通安全に関する諸注意、事故防止対策	69名
2月22日	健康講座	転倒リスクの予防	22名

### 事故の報告

「事故ゼロ」を目標に取り組みましたが、傷害事故が6件（昨年5件）第三者への賠償事故は6件（前年11件）発生しました。

会員の 傷害事故 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業中（公共） 配布中、段差に気づかずつまずき、左手骨折</li> <li>・就業中（企業） 清掃中、指を用具入れのドアに挟まれ、負傷</li> <li>・就業中（企業） 清掃中、段差に気づかずつまずき、肋骨骨折</li> <li>・就業中（剪定） 足を脚立に引っ掛け地面に転落、手首骨折</li> <li>・就業帰途（企業） 自転車から転倒。顔面を強打、手指骨折</li> </ul>
---------------------	---

	・就業帰途（企業） 自転車から転倒、足首骨折
第三者への賠償事故（6件）	・就業中（家事） トイレのふたの可動部分を破損 ・就業中（除草） 刈り機使用中、駐車中の車両窓ガラスを破損 ・就業中（剪定） 刈り機使用中、駐車中の車両窓ガラスを破損 ・就業中（剪定） 脚立を照明灯に接触させ破損 ・就業中（企業） 駐車場入庫操作を誤り、車のバンパー及びレールを破損 ・就業中（家事） アイロンを倒し、テーブルを焦がす

## ウ 専門委員会

### ① 広報啓発委員会（委員会開催：12回）

- ・会報「はつらつ芦屋」第36号及び第37号を発行しました。
- ・全戸配布の「しるば〜たいむず」第25号及び第26号を発行し、市内全世帯に配布しました。
- ・毎月センターホームページを更新し、センターの情報発信の充実を図りました。
- ・はつらつ館玄関前の掲示板を活用し、月間スケジュールを掲示し、センター事業を広く市民、会員に紹介しました。
- ・「やっぱりシルバー！」と題して、市役所北館展示コーナー及び市保健福祉センターエントランスにおいて会員活動パネル展を開催しました。
- ・シルバーフェスティバル等のイベントチラシを作成し周知を行いました。

### ② 会員拡大委員会（委員会開催：6回）

- ・9月から12月を会員入会促進月間とし、「会員紹介キャンペーン」を実施しました。
- ・会員普及啓発活動として「会員募集」チラシを街頭配布し、会員増加及び就業開拓の普及啓発活動を4月14日（南宮町スーパー前）、10月13日（JR芦屋駅周辺）及び1月17日（JR芦屋駅周辺）で実施しました。
- ・退会者の抑制を図るために設置したプラチナ会員制度については令和5年度は36名の方がプラチナ会員となり退会者の抑制に繋がりました。

### ③ 会員意識向上委員会（委員会開催：6回）

- ・「大会・講座・研修会開催予定一覧表」の評価・修正を行い、全会員に配布しました。
- ・会員のスキルアップを図るための「接遇研修」を3回、「認知症サポーター養成講座」を3回実施しました。
- ・新入会オリエンテーションに委員が参加し「大会・講座・研修会開催予定一覧表」を活用し各種講座の周知に努めました。
- ・ベーシック講座実施前に新入会会員に電話を行い講座の参加者の増加に努めました。
- ・センターのイメージアップを図る活動企画として、センターユニフォーム、会員の就業態度について事務局に提言しました。

### ④ 事業活性化委員会（委員会開催：6回）

- ・独自事業を推進するため、会員から新規事業の企画提案募集を2回行いました

が新規事業の提案はありませんでした。

- ・独自事業の拡大及び適正化を図るため、新規事業提案書、活動報告書、チェックシート、事業実施要綱の内容を協議し全面見直しを行いました。

### ⑤ 会員活動委員会（委員会開催：6回）

- ・会員相互の連携と親睦を推進し、地域との交流を図るため、以下の内容を企画・実施しました。

実施日	内 容
4月22日	清掃ボランティアを実施 国道2号線、中央線沿いの清掃 (会員・職員36名参加)
10月14日	清掃ボランティアを実施 国道2号線沿いの清掃 (会員・職員45名参加)
10月21日	第5回シルバーフェスティバルをはつらつ館全館及び南側道路において開催 (来場者数約400人) 養父市・明石市シルバーと連携を図り、広く市民にシルバー事業を紹介することができました。
11月22日	会員研修バスツアーを実施 (会員39名参加) 行先：和歌山方面 ミカン狩り、湯浅醤油見学、黒潮市場(バーベキュー)
1月9日 ～ 1月29日	保育所ボランティア (参加者41人) 9月から手作りおもちゃの製作を始め、1月から市内保育所7か所のこども園・保育所で子どもたちと触れ合うことができました。

### ・会員同好会活動報告

会員が自主的運営をしている各種同好会も活発に活動しました。

同好会名	活動回数	参加者延人数
ゴルフ同好会(ASG会)	6回	86人
囲碁同好会	36回	189人
写真同好会(デジイチ会)	17回	206人
絵画クラブ(OLIVE)	25回	66人
手芸同好会	11回	42人
はつらつサロン(ワイ・ガヤの会)	12回	85人
ビデオ散歩倶楽部	6回	44人
麻雀同好会(すずめクラブ)	24回	379人
カラオケ同好会(ひばりクラブ)	12回	98人
将棋同好会	23回	85人
アンサンブル同好会(ど〜れ)	27回	224人
ウクレレ同好会(AGBハワイアンズ)	18回	54人
ジャズを楽しむ会(All That Jazz)	12回	74人

コーラス同好会（うたクラブエチュード）	23回	147人
コントラクトブリッジ研究会	23回	111人
マジック研究会	14回	31人
バルーン同好会	12回	77人
クッキング同好会	11回	76人
爽やかストレッチサロン	18回	66人
同好会活動実績延合計数	330回	2,140人

#### (4) その他の活動

##### ア 地域班活動（活動回数：13回）

- ・令和5年度は46人体制で、毎月事務局だより等を担当地区の会員宅へ配布しました。
- ・5月に総会議案書を全会員に配布しました。

##### イ「女性の会」運営委員会（会議開催：6回）

- ・「芦やん小町通信」第14号から第16号を発行し、活動を広く周知しました。
- ・7月19日にミニイベントとして「ハーモニカ演奏会」（演奏：フラットハーモニカ・パル）を開催し18人が参加しました。
- ・9月29日に「女性会員交流会」を開催し会員14人が参加しました。
- ・11月29日にシルボンヌ全国大会（開催地：福岡市博多区）に参加し全国のセンターと交流・意見交換を行いました。
- ・1月27日に「第9回女性の集い」としてナリニ・トシュニワル氏を講師に迎えインド古舞踊「カタックダンス」を開催し59人の参加がありました。

##### ウ 第3次中期事業計画策定委員会（会議開催：10回）

- ・準備委員会を経て、第2次中期事業計画（令和元年度～令和5年度）の検証、分析を行い、第3次中期事業計画を策定しました。

### 7 会員の知識と技能の向上

#### (1) 新入会員対象のオリエンテーション

開催日	内容	参加者
毎月第3火曜日 9:30～12:00	会員の心得、就業について 接遇研修、安全・適正講習等	新入会員全員参加義務付け

#### (2) 会員の知識・技能の向上のために講習会を開催しました。

講習名	開催日	内容	参加数
MANパワーチーム講習会	毎月第4火曜定期開催 (新人対象)	窓ガラス・網戸等の実技 (講師：チームメンバー)	5人
ビジネス筆耕育成講座	毎月第1・3木曜日	筆耕の育成	80人
子育て支援新人研修	6月22日、12月20日	まつぼっくり・会員の心得 子どもの発達、安全等	7人

子育て支援ステップアップ研修会	5月26日、8月25日	救急救命講習 精道こども園見学	26人
チャレンジ講座 (一般市民参加型)	4月22日、1月25日	障子・網戸張替	7人
会員スキルアップ講座 (ベーシック講座)	6月19日、9月7日、 12月4日	接遇講習会 (講師:会員意識向上委員)	48人
	7月10日、10月16日、 1月11日	認知症サポーター養成講習会	51人
生活支援型訪問サービス従事者研修会 (市受託事業)	6月5日・7日、10月4日・6日、 1月24日・25日	サービス従事者の研修	26人
家事支援講習会 (兵シ協主催)	9月14日・15日	「人」と「心」をつなぐ傾聴 清掃マイスター2級資格取得講座	12人
マンション管理講習会 (兵シ協主催)	11月7日・8日	マンション管理の講義	8人
福祉・家事援助サービス講習会	3月28日・29日	「皆が支え合う地域づくり」	19人

## 8 事務局活動等

### (1) 情報の収集及び調査活動

事業の適正かつ効率的な運営を図るため、全シ協、兵シ協、他市センター及び関係団体と連携し事業活動や就業に関する情報の収集に努めるとともに積極的に上部組織主催の会議、研修会へ出席しました。

#### ① 関係団体の会議

開催日	内容
6月1日	第1回阪神ブロック会議(オンライン)
6月19日	兵シ協第1回事務局長会議
8月29日	兵シ協中期事業計画推進会議(オンライン)
9月6日	第2回阪神ブロック会議(オンライン)
10月17日	兵シ協第2回事務局長会議
10月20日	兵シ協事業推進大会
11月29日	シルボンヌ全国大会(福岡市博多区)
12月13日	兵シ協中期事業計画推進会議(オンライン)
2月13日	兵シ協第3回事務局長会議
3月6日	第3回阪神ブロック会議(オンライン)

② 各種研修会

開催日	内 容
6月28日	NR I ユーザー研修 (オンライン)
7月14日	兵シ協簿記研修会
8月17日	NR I ユーザー研修 (オンライン)
22日	〃
8月21日	近シ協管内事務局職員研修 (滋賀県草津市)
8月24日	兵シ協新任監事研修会
9月27日	兵シ協県関係団体運営研修
10月26日	兵シ協次世代職員育成研修
・27日	
11月 9日	兵シ協新連合システム説明会 (オンライン) NR I ユーザー研修 (オンライン)
11月27日	兵シ協簿記ステップアップ研修
1月15日	阪神ブロック職員研修
1月18日	兵シ協派遣実務担当者研修
1月26日	〃
2月22日	全シ協安全就業指導者会議 (オンライン)
3月11日	兵シ協派遣実務担当者研修

③ 視察来訪

来訪日	来訪センター等	主な視察内容
5月11日	エストニア共和国タリン大学研究者・ 神戸大学教授	事業全般
10月 5日	長崎市シルバー人材センター	女性会員拡大・ デジタル化

④ 行政及び関連団体との連携

- ・シルバー事業の理解及び周知と市との連携強化のため、福祉部長及び関係所管課長、係長とセンター役職員による合同会議を7月27日に開催しました。

(2) デジタル化の推進

- ・センターと会員とのコミュニケーションツールとして、8月に会員専用サイト「Smile to Smile」の運用を開始しました。3月末現在の登録者数は575名(50.3%)となっています。
- ・Smile to Smile を推進するため講習会を22回実施し受講者は54名でした。

(3) その他

- ・諸物価の高騰のため4月から事務費を14%に改定した。
- ・兵シ協が実施する有料職業紹介事業はありませんでした。
- ・今年度も芦屋市から「芦屋市生活支援型訪問サービス従事者研修」を受託し、3回

実施しました（参加者26人）。

- 兵シ協・ハローワーク西宮・芦屋市シルバー主催で「シニア世代向け賃金設計&就活セミナー」を開催しました（参加者57人）。
- 兵シ協が実施する高齢者活躍人材育成事業に「傾聴はつらつ」グループを講師として各センターへ派遣しました。